

近畿支部会報2012年5月春号

新緑の美しい頃となりました。でも、この頃、気候が少し変です。昨年の大震災に続いて、竜巻が起きました。自然は一方でその様に恐ろしいものですが、次々にいろんな花を咲かせたり、私たちの生活を豊かにしてくれます。そんな自然の中で、今年もオカリナコンサートが行われました。あいにく、始めの予定日が雨のため、参加出来る会員は少ないでしたが、参加された方より報告を頂き、無事に会報が作れました。本当に助け合いの近畿支部、とても嬉しいです。



今回の会報は次の内容でお届けします。

- | | | |
|----------------|-----------------------|----------|
| 1、特別例会報告 | 大津市 W.A | 東大阪市 M.T |
| 2、トラベラー受け入れ報告 | 「台湾とアメリカからのトラベラーを迎えて」 | 和泉市 A.K |
| | 「スーパーおばさんの受け入れ」 | 京都市 N.A |
| | 「フランスのお客様」 | 京都市 T.S |
| | 「マレーシアの弥次さん喜多さん」 | 京都市 H.T |
| | 「子供連れの家族旅行」 | 京都市 H.T |
| 3、会員交流「北から南から」 | 「オカリナフェスティバルを夢見て」 | 生駒市 T.S |
| 4、お知らせとお願い | 支部長 | |

1、特別例会報告

大津市 W.A

～第5回 蛇の出る前 オカリナコンサート～

4月29日(日)快晴に恵まれて、生駒山・暗がり峠でコンサートが行われました。予定の22日が荒天のため1週間延期されての実施でした。私は初めての参加、さいわいMさんが車で生駒駅に迎えて下さり大変助かりました。無門丘(T.S)さんのホームページには、徒歩1時間、車も通れますが、周囲の景色を楽しみながらのハイキングがお薦めのようなのでした。しかし実際は休まない急勾配、登りも降りもそれぞれに歩きなれない者には相当にハードなコースでした。生駒山の山頂遊園地しか知らない私は、そのすぐ下辺りにこ



んな地域があることにある種の感動を覚えました。

急勾配の道に沿って棚田が続き、そこにはこの厳しい条件のもと、何代にもわたって農作業を営み続けてこられた人々の暮らしがありました。会場はまさにそういう方々の土地をお借りしたものでした。棚田のほとんど一番高い場所の畦がステージ(恐らく先週なら水仙の花が見頃だったのでは?)、その下の段が客席、満開の菜の花を周囲だけ残して刈り取り、そこに座席用にブルーシートが何枚も固定され、日よけのパラソルまで立てられていました。先週もきっとこの準備をなさって・・・とご苦労を思いました。

マイク、楽譜立て、伴奏用の装置などすっかり仕度が整って、主役の無門丘さん、どこかの酒屋さんの前掛けらしきものを締めて(どうやらこれがオカリナコンサートのスタイルらしい)の登場です。ご挨拶もそれに続く司会も良い意味での素人らしさが全体にあふれ、そこにも好感が持てました。演奏は素人どころか、かなりの技量まで到達しておられた方々も多くいらっしゃいました。

無門丘さんはこのコンサートのために1年間、相当の努力を続けてこられたことが十分に伺われました。ご自身のための選曲、楽譜の準備に始まり、「毎日練習しました」とポロッと仰いましたが、かなりの大曲も含めて何曲もの大変な努力と思いました。その上に感心させられたのは、オカリナをはじめ、ハーモニカ、二胡、ケーナ(予定が延期のため29日は不参加)まで、各地からの個人やグループの友人たちに演奏の場を提供していらしたのです。広い交友関係と親しみやすいお人柄、それに何よりも音楽への熱意の賜物と思いました。それを陰で支える奥様の目立たぬお姿にも心動かされました。

第1部は無門丘さんのスコットランド・アイルランド・イングランドの民謡に始まり、第2部は友情出演によるクラシック、ゴスペル、ポピュラー、アニメソング、母の世代が懐かしむ蘇州夜曲、沖縄の歌など実に幅広いジャンルにわたって楽しませて頂きました。第3部のケーナは残念ながら聞けませんでした。締めは再び無門丘さんの1年間の集大成、喜多郎のシルクロード、アメリカンパトロール、アンデスの民謡などの熱演、エンディングは出演者全員による鉄腕アトムの大合奏で盛り上がりました。大きな拍手のあとになんと「お土産のお菓子を忘れずにお受け取りください」のアナウンス! 至れり尽くせりのお心使いでした。



ところでMさんご夫妻は娘さんご家族4人ともご一緒、途中のレストランでスリランカカレーの昼食(美味しかった!)。見晴らしもよく、野の花が咲き乱れ、モコモコの羊が2頭もいて3人のお孫さんたちととても楽しみました。

会場でもお孫さんたちは雨ガエルやカマキリの卵を見つけ、せせらぎに足を浸し、車の危険のな

いところを裸足で駆け回って、土の感触を味わい、自然を存分に楽しまれたと思います。そういう光景を眺めながら、菜の花ごしに耳を傾けるという滅多にない幸いな時間を恵まれました。

余談ながら当日、私はアイルランドのサーバスの友B・Hさんから頂いたブラウスを着ていきました。それは昨年の総会で無門丘さんがアイルランド民謡を演奏されたので、きっと今回もという期待があり、加えてB・Hさんのガンが予期に反して好転したことを祝いたかったのです。

良き哉 サーバス！ 無門丘さん Mさん 有難うございました。

「孫・自然に囲まれて」

東大阪市 M.T

連休は娘の家族が泊まりに来ていて、にぎやかな連休を楽しんでいます。オカリナコンサート、晴天に恵まれて楽しいひと時を自然の中で過ごしました。孫たちも棚田で走り回り、帰りの車内ですぐに眠りに入りました。次回のコンサートを楽しみにしています。

2、トラベラー受け入れ報告

台湾とアメリカからのトラベラーを迎えて

和泉市 A.K

3月17・18日は、私は予定があり、家を空けていました。夫が、彼女たちのために、受け入れの準備をしてくれていました。日本サーバス会議に合わせて、台湾から、5名のメンバーで日本に来ていられていました。メールで、Sさんとやりとりをする中で、予定がどんどん変わっていききました。Hさんには、大変お世話になりました。



19日は、大阪市内を観光した後に、予定の時間を30分遅れて北信太駅に着きました。SさんとPさんは、疲れも見せず元気いっぱい改札を通ってきました。

20日は、Tさんと一緒に、大阪周遊パス(2000円)を利用して、空中庭園・ハートンホテルにてランチバイキング、大阪市立科学館・とんぼりリバークルーズに乗り、なんばを歩きました。集合写真を撮る時に、ひとりひとりのカメラで、気持ち良く対応してくれていた方に、台湾のメンバー全員が「シャーン！シャーン！」と、言っていました。私は、写真を撮ってくださっている方に「写真！写真！」と、言っているものと思いました。あとで聞くと「小心(気をつけて下さい)」足元注意だったのです。その後、スーパーに行きたいとの希望があったため、キューズモールに寄って、日本のスナック菓子・ポン酢等の調味料を買っていました。Pさんは、食品メーカーにお勤めで、興味があったようでした。フードコートでは、うどん・たこ焼き・イカ焼きを食べました。とにかく、元気一杯で、行動的な人たちでした。帰りの電車で知り合った此花学院の高校生に、「台湾では、学院は、大学を指すのだけど、大学生か?」と聞いて、サーバスの勧誘を始めました。名刺を渡して、インターネット

トで調べるようにも言っていました。高校生は、びっくりしながらも耳を傾けていました。私も彼女を見習ってトラベラーを案内するときは、サーバスのパンフレットを持って出かけるように心がけようと思いました。

21日は、仕事もあったので、朝、駅にて別れました。台湾に冬出かける予定があり、また、会いたいと約束しました。慌ただしい2泊3日の交流でした。



22日からは、Sさん、Kさんのところから、我が家に、Rさんが休暇を利用して初めて日本に来られました。メールのやりとりがうまくいかずに困ってしまいました。二人に助けられながら、当日を待ちました。

23日は、小学校の修了式があるため、朝から、小学校を見学してもらい、1年生の歓迎のことばの練習を見ました。子供たちも「どこから来たの？」話をしていました。お花に興味があるとの事でしたので、久保惣美術館の日本庭園・国華園へ行きました。

24日は、大阪周遊パスを使って大阪をまわることを提案すると喜んでくれました。大阪駅観光案内にて聞くと、外国の人は、2700円で2日券が買えますが、一緒に回る私たちは、1人だけは、通訳として買うことができると言われました。それを使って天然温泉なにわの湯に行きました。隣同士に座ると、打ち身のように青くなったところを見せてくれました。聞いてみると、鹿に噛まれたそうです。薬局にて、薬を買って試していました。一日中歩いていました。

25日は、難波から、今宮戎、通天閣へ。午前中は、英語ガイドの人と一緒に歩きました。お昼を食べて、咲くやこの花館、四天王寺へと行きました。

26日は、中部国際空港に移動するための、交通機関を考えて、近鉄特急で移動することになりました。関西空港は、我が家からとっても近いので、是非、そうしていらっしやいと話しました。

お花が大好きで、帰国後、花の種をたくさん送ってくれました。中には、注意書きまで書いてくれました。写真を撮って成長を送りたいと思いました。

スーパーおばさん・Dさんの受け入れ

京都市 N.A

トラベラー : D. N. F (FROM CANADA Montreal) Age:69

受け入れ日:2012年4月2/3/4日 2泊3日

1月からの申し入れでしたが、ご本人が私どもと同世代なので、すぐにオーケーの返事を出しました。最初のメールからは、世界各地に赴き旅をして、住んでいるものですから、相当な強者と感じられて、楽しみにしていました。会ってみるとやはりスーパーおばさんで、日本へは何回も来た中で、中山道を十日間歩いたり、小さな田舎を訪ねたりして相当なもので、京都市内もほとんど歩き回ったようです。寒さも雨ものともせず、歩きバスも地下鉄も



我が家を地図上で点で示しただけで、何の問題も無かったです。全くのアウトドア一派で、ガー
ルガイドのリーダーをしていた事などで、読図力素晴らしく、話がよく合った点でした。ただ残念な
事に私の当初の予定が変わり、多忙になり余り話が出来ませんでした。私の居ないときには孫と
も話していたようでした。

フランスのお客様

京都市 T.S

2012/4/14~15 M-C & Pのご夫妻をお迎えしてデイホストしま
した。打ち合わせ通り京都駅で定刻にお会いし、金閣寺、銀閣
寺、二条城へと廻り、道すがら自己紹介や、日本文化のフラン
スの人々の捉え方を学びました。散策しながら、「マンガ喫茶」
についての質問を受けたのには驚きました。明日マンガミュ
ジウムに行きたいけど行き方を教えて欲しいと頼まれ、開館時
間などを調べ、お伝えするとマンガ喫茶にも行きたいと随分と
熱心でした。しかし私はマンガ文化を理解しないわけではないが、ご紹介出来る場所を知らず、
「お好み焼き屋さん」「焼き鳥屋さん」ならマンガを備えているかもしれないと思いましたが、適当な、
お店は見つからず、残念でした。次の日約束の時間に京都マンガミュージウムに行く時間を延長
してもう少しみたいと申し出があり、私も以前、中を見た事はありますが、マンガは日本語ですし、理
解されるのに困難が伴うと思っていたのは誤算でした。存分に楽しまれた様です。また、あちこち
でフランス語の広告を見て、ニヤニヤと不思議そうな顔つきでした。また街中の電線が無秩序に顕
わにされているのに対して、フランスは地中に埋め込まれていると指摘されました。造詣の深いご
夫妻でした。



マレーシアの弥次さん喜多さん

京都市 H.T

2月24~26日 マレーシアの男性 T.L.B.Kさんと、J.Y.C.
Mさんを受け入れました。彼らはよく二人で旅行されているよ
うで、弥次さん、喜多さんのような愉快な方です。日本への
フライトは往復2万円で購入したのにと、日本、特に京都の拝
観料の高さには閉口されているようでした。それで、我が家の近
くの東福寺や稲荷神社等無料の所は楽しんで見られましたが、
拝観料を払う所はあまり好まれず、それより買い物を楽しませ
ました。彼らは元気でよく歩かれるので、稲荷神社は山頂まで行きました。帰りは泉涌寺に出る道
を通り、これ又、無料の塔頭で、運慶作の大きな仏像等を楽しみました。又、いつものことながら、T.N
さん、T.Sさんもデイホストとして、活躍して下さいました。



子供連れの家族旅行

京都市 H.T

二人の子供さん7歳のL君と9歳のH君と一緒に旅行されているフランスのS & N. Mさん一家を3月24～26日受け入れました。ご夫妻はサバティカル休暇を6カ月取っての、主にアジア方面の旅行です。



25日、L君が熱を出しました。それで、L君とお父さんは家に残って、お母さん、H君と一緒に近くの観光に出かけました。さて、家に帰り、次はお父さんが観光に出かける番です。

ですが、H君は観光には行きたくない。L君と一緒に家にいると言って、一緒に行こうとしません。子供たちは去年の11月から旅を始めて、今や旅は十分堪能し、早くフランスに帰って、学校に行ったり、友達と遊びたいという気持ちになっていられるそうです。H君が行かないというので、仕方なくお父さんは一人で出かけられました。2人の子供たちは一緒にいて、お母さんが写真を見せて下さいました。それには、2人の子供たちが友達や親類の人達と生き生き遊んでいる姿がありました。親にとっては忙しい仕事の間に取りれる休暇、子供たちは友達と遊びたい、色々考えさせられるトラベラーでした。

3、会員交流「北から南から」

オカリナフェスティバルを夢見て

生駒市 T.S

やわらかい土笛の音色が好きで始めたオカリナも節目の5年が過ぎました。始めてしばらくすると世の中にオカリナフェスティバルなるものがあり各地でオカリナ愛好家が思い思いの方法で演奏会をしていることを知りました。昔の話ですが昭和50年代の中ごろだったと思います。大阪のフェスティバルホールで喜多郎さんのコンサート「シルクロード」を聞きに行きましたが、喜多郎さんは凄い！凄い人だなァとその時の感動は今も忘れません。直ぐに演奏テープを買って何度も何度も聞きました。



その頃まさか自分がオカリナを吹くなどと夢にも思いませんでした。大胆にも今年の「蛇の出る前オカリナコンサート」で下手ながら念願のシルクロードを吹くことが出来ました。オカリナは還暦を過ぎて始めましたが、直後から何時か各地からアマチュアの奏者を募ってオカリナフェスティバルをやりたい、しかも自然の中で！と心に誓ったものです。

私の年齢を考えれば余り悠長なこともしておれませんので、やるなら5年以内です。

オカリナフェスティバルを遣る準備段階として、毎年無門丘の蛇の出る前オカリナコンサートを暗がり峠の棚田で遣らせてもらっています。

今年の峠のオカリナコンサートは大変良い天候に恵まれまして無事終わりました。M様ご夫婦とW.Aさまが遠路お越し下さいました。会場は菜の花が咲き乱れ気持ちの良い一日でした。来年もやる予定です。

4、お知らせとお願い

支部長

*既にお知らせしていますように、下記の要領で支部例会を行います。多数ご参加くださいますように、よろしくお願いします。

1、日時 :2012年6月3日(日)11:00~16:00

2、場所 :サーバス会員 S.Y様宅

3、昼食 :参加者よりの1品持ち寄り

主食・副食・飲み物・果物・お菓子何でも結構ですので、1品ご持参下さい。

又、過不足を調整しますので、何をお持ち頂けるかを支部長までお知らせ下さい。

4、日程 :11:00 JR 石山駅集合(改札口を出て左の階段を下りた所)

石山駅からSさん宅へはバスがありますが、本数が少ないので、S様、W様が駅からSさん宅へ、自家用車を出して下さい。どうぞ遅れられないようによろしくをお願いします。

11:30~13:00 昼食・歓談

13:00~14:00 講演「外国人から見た日本 そして日本/日本人に望む事」

講師 Caさん

14:00~ 14:30 サーバス関係の討議及び報告

14:30~16:00 ・サーバス会員によるトラベル報告

・Sさん宅付近の観光

Sさん宅は、琵琶湖がすぐ目の前にあり、とても素敵な所です。

*この件も既にお知らせしているものです。今夏8月5日~11日にポーランドで行なわれるサーバスユース(ヤング)の国際会議に、近畿支部会員である大学生のIさんが参加されます。会員の皆様からカンパを募って彼女を励ましたいと思います。1口1000円で集めます。お志のある方は、下記口座に送金をお願いします。

郵便振替払い込み 口座番号 00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部